

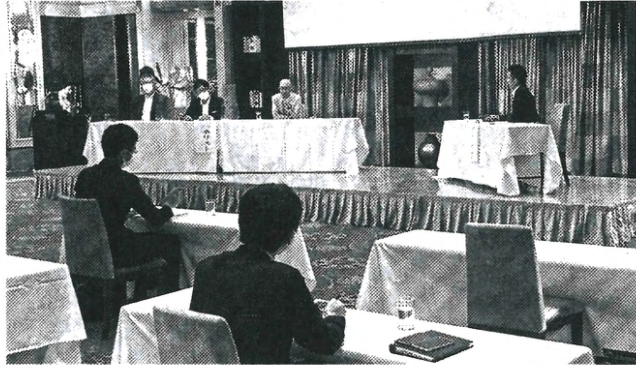
書面添付シンポジウム開催

TKC近畿兵庫会

【大阪】TKC近畿兵庫会(小林雄介会長)は10月6日、「書面添付シンポジウム」を神戸市内のホテルで開催した。会員や金融機関からオンライン参加を含め約100人が出席した。TKC方式の書面添付制度を活用して企業の決算書の信頼性を高めることが狙い。

小林会長は「金融機関には書面添付の信頼性を理解いただき、融資判断の一つとしては「正しい」と挨拶。また、近畿財務局神戸財務事

税理士と金融機関のパネルディスカッションも実施(10月6日、ホテルクラウンパレス神戸)



金融行政」について講演した。

務所の内藤啓二郎理事長が「新型コロナウイルスの影響と今後のイルスの影響と今後の」

パネルディスカッションでは、会員税理士と、金融機関代表として商工組合中央金庫神戸支店の佐藤裕喜支店長が登壇し「コロナ関連融資などで初めて取引する先は過去のデータがなく、書面添付によって信頼性が増す」などと話した。